

希少疾患に向けた創薬

ハイブリッド(オンサイト／Zoom)

無料



日時 : 2026年2月21日(土)13:00～19:30(12:30開場)

会場 : 日本橋ライフサイエンスビル201
(東京都中央区日本橋本町2-3-11)

形式 : ハイブリッド(対面もしくはZoom配信)

参加方法 : 事前登録制

リンク : <https://www.pbss.org/eventDetails/1036>

登壇者 :

希少疾患に向けた創薬の課題や政策面の取り組み



浦 克彰

内閣府
健康・医療戦略推進事務局
政策企画調査官

患者発の取り組みにおける機会と課題



菅沼 正司

一般社団法人こいのぼり
代表理事

希少疾患の創薬機会と課題



國信 健一郎

株式会社フェリクス
代表取締役

希少疾患におけるLessons learnedと投資の考え方



野々村 和彦

RDiscovery株式会社
パートナー

製薬企業における希少疾患の研究開発・事業化
に向けた考え方



小林 義直

ノーベルファーマ株式会社
事業開発・導入推進本部 導入推進部
部長

臨床側の希少疾患への開発機会と課題ならびに開発イ
ンセンティブの薄い希少疾患への創薬アプローチと課題



中村 治雅

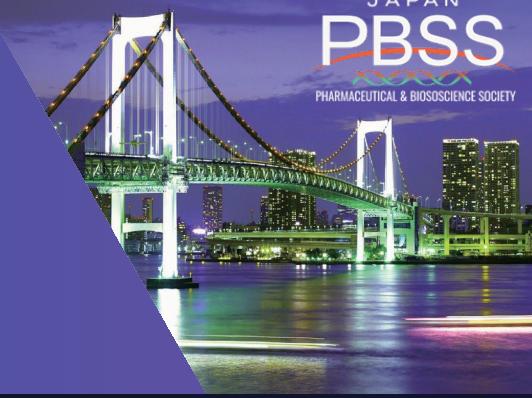
国立精神・神経医療研究センター
病院 臨床研究・教育研修部門
臨床研究支援部
部長

イベントの最新情報・事前登録は上記リンク先のWebサイトをご確認ください

希少疾患に向けた創薬

ハイブリッド(オンライン/Zoom)

無料



トピック	登壇者(敬称略)	時間
Japan PBSSおよびテーマの紹介	上村 成章 (Japan PBSS)	13:00 – 13:15
希少疾患に向けた創薬の課題や政策面の取り組み	浦 克彰 (内閣府)	13:15 – 13:40
患者発の取り組みにおける機会と課題	菅沼 正司 (一般社団法人こいのぼり)	13:40 – 14:05
希少疾患の創薬機会と課題	國信 健一郎 (株式会社フェリクス)	14:05 – 14:30
Sponsor Presentation	スポンサー企業様各社	14:30 – 14:45
Coffee Break	–	14:45 – 15:00
Sponsor Presentation	スポンサー企業様各社	15:00 – 15:15
希少疾患におけるLessons learnedと投資の考え方	野々村 和彦 (RDiscovery株式会社)	15:15 – 15:40
製薬企業における希少疾患の研究開発・事業化に向けた考え方	小林 義直 (ノーベルファーマ株式会社)	15:40 – 16:05
臨床側の希少疾患への開発機会と課題ならびに開発インセンティブの薄い希少疾患への創薬アプローチと課題	中村 治雅 (国立精神・神経医療研究センター)	16:05 – 16:45
パネルディスカッション	モデレーター: 上村 成章 パネリスト: 上記登壇者6名	16:45 – 17:45
Closing	村上 貴之 (Japan PBSS)	17:45 – 17:50
Happy Hour & Networking	–	17:50 – 19:30

希少疾患に向けた創薬

ハイブリッド(オンライン/Zoom)

無料



スポンサー企業(2026年2月3日時点、順不同)



Japan PBSSのご紹介



Japan PBSSについて

Japan PBSSは、PBSS Internationalの日本支部として2025年7月に設立されました。日本の創薬のさらなる発展に寄与することを目的に活動を開始し、10月25日の初回イベントを皮切りに、今後は以下のようなテーマを扱いながら、多様なイベントの開催を予定しています。

- ウェビナー
 - AI in Drug Discovery (2026年4月4日[土] 8-9時)
- ワークショップ:創薬エコシステムシリーズ
 - Partnering of Pharma and Biotech (2026年5月16日[土] 午後)
 - Investment to Exit 投資家の視点 (TBD)
 - Global展開 (TBD)
 - Academia to Biotech (TBD)
 - 各創薬エコシステムからの学び (TBD)

Japan PBSSは、創薬に携わる皆様が最先端の知見やトレンドに触れ、分野を越えたつながりを育むことのできる場を提供してまいります。

Japan PBSSの理念

【Mission】

- 知の流動化を通じて、創薬を推進する

【Vision】

- 日本の創薬を担う人々が世界で輝くために、知の流動を加速し、革新と成長を生み出すプラットフォームとなる

【Value】

- Pay it forward: 経験や知恵を、社会や次世代に還元し合う
- Bridge Boundaries: 日本国内の異なるステークホルダーや日本と海外のバイオテックエコシステムをつなぐ架け橋となる

PBSSのご紹介



PBSSについて

PBSS(Pharmaceutical & BioScience Society)は2002年に設立されたライフサイエンス分野に特化した非営利団体です。米国サンフランシスコ・ベイエリアに本部を置き、現在はサンフランシスコ、サンディエゴ、ボストン、シアトル、バンクーバー、韓国、日本の7支部に展開しています。

PBSSでは、医薬品の研究開発に関する最新情報の共有と専門的な研修を目的として、年間30~40件のセミナー、シンポジウム、ワークショップを開催しており、これまでに延べ2万人以上の皆様にご参加いただいています。



サンフランシスコベイエリアのワークショップ
(ADC from discovery to development)

今後のPBSS International 開催イベント(オンライン参加可)

- 2/10 Seattle
Roadmap to Formulation Development of Monoclonal Antibodies and Related Proteins:
From Pre-Clinical to Commercialization
- 2/19 SF Bay Area
CMC of Protein and Antibody Therapeutics: Fundamentals, Best Practices, and
Regulatory Strategies
- 2/26 Boston
Recent Developments in Clinical Pharmacology: Dose Optimization, PBPK Modeling,
TQT Waiver, Pediatric Dose Projection, and AI/ML Case Studies

過去及び今後のイベントに関する詳細は、PBSSのWebサイトをご確認ください
(<https://www.pbss.org/>)